

玉手山学園 広報

Tamateyama Gakuen Kouhou
Vol.75
2014.5
Spring-summer

巻頭 理事長あいさつ
ようこそ
玉手山学園へ
夢に近づく
～学ぶ時、本気になる～



建学の精神「感恩」

人はみな数々の恩恵を享受し 生かされている
この真理に目覚め 感動と感謝から発する
豊かな心と情熱をもって 人の幸せを願い行動するとき
われわれは社会に貢献できる
～「ありがとう」に出会い気づき 感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生み出されていく～

Contents

- 巻頭 理事長あいさつ
- 入学式・入園式
- 学園トピックス
- 先生をご紹介します
- 職員をご紹介します

巻頭

理事長あいさつ

ようこそ 玉手山学園へ 夢に近づく ～学ぶ時、本気になる～



新しい仲間(新入生、新任教職員)、皆さま「学園にようこそ！」 生涯の友を

今春の学園一番桜も勾玉橋西側のソメイヨシノ、昨年より4日遅れの3月23日の開花でした。新しく学園の「仲間」になられた学生・生徒・園児(以下、学生)、教職員の皆さま、ようこそ玉手山学園にお越し下さいました。豊かな学園生活を送り、新たな生涯の友との出会いがあるように願っています。

建学の精神「感恩」、「ありがとう」を大切に 卒業生は誇り

玉手山学園は本年創設72周年、建学の精神「感恩」のもと、今日まで「ありがとう」を大切にする教育に邁進してまいりました。卒業生総数は6万人を超え、その存在は学園の歩みそのものであり、そして大きな力・誇りです。



大学卒業式「一人でも多く笑顔でこの日を」

「関女と関女幼」は来年50周年！短大新校舎建築、そして50周年記念式典も

関西女子短期大学と同附属幼稚園は1965年(昭和40年)に開設されました。当時はアジアで初の東京オリンピックが開催(昭和39年)されるなど高度経済成長、高等教育への進学率も上昇の一途“右肩上がり”の社会情勢で、この時期に全国で多数の短期大学が開設されました。2015年(平成27年)に、短大と幼稚園はともに50周年を迎えます。少子化の激しい学校競争環境のなか、関西女子短期大学と同附属幼稚園は「ここで教育(保育)を受けたい」と、本年度も多くの新入生を迎えることができました。学園教職員の誠実な教育実践と、多くの方々の学園教育へのご支援の賜物と感謝しています。50周年を機に「感謝の表明・母校愛の醸成・短大、幼稚園の活力発信」を趣旨として50周年記念式典(平成27年10月)などの記念行事を計画しています。また短期大学の新校舎を建築(今夏着工予定)し、一層短期大学の教育力を高めてまいります。

再び東京オリンピック(2020)豊かな日本、底力 学ぶ責任…

昭和20年(1945年)に日本は、あの太平洋戦争(大東亜戦争)に敗れ、都市部は焦土と化しました。その大打撃からわずか19年後にアジアで初のオリンピックが東京で開催されました。日本人の豊かな心、人格、気力、優れた知識・技術、日本の底力の証です。それから50年、半世紀を経て再び東京でオリンピックが開催されます。努力を重ねてきた先人のおかげで今の豊かな日本があり、そして、未来の日本を築くのは…まさに皆さん(学生)、若者です。皆さんは、いま「学べる絶好の環境」にあり、学ぶべき時…なのです。「学ぶ責任」とは社会に対する責任、将来の幸せな自分に対する責任です。皆さんには豊かな未来をつくる使命があり、皆さんはそれができます。そして何より、皆さんには「学ぶ喜び(面白さ)」にぜひ気づいて欲しい。「なぜ、どうして?? どうしたらいいんだろう?」を大切にしてほしい、そこが出発点だから…。「面白い、もっと知りたい」この気持ちが大切です。

夢に近づく その気になる、本気になる

先日、関西福祉科学大学高等学校の日本拳法部の全国大会団体戦がありました。惜しくも決勝で敗れましたが、全国優勝を夢(目標)として頑張っている高校生たちを私は頼もしく誇りに思いました。“どうしたらうまくなれる、なぜ勝てなかった”と考へに考へて、夢を叶えるために日々練習に励んでいる彼らは、心身ともに成長していきます。クラブ活動でも学業でも成就するために最も大切なことは、自分自身がその気になる、本気になることです。学生達に気づいてもらう、目覚めさせることが私たち教職員の仕事です。「どうしたらいいか」と創意工夫を重ね努力して学生に接する(仕事をする)ことで、私たち教職員も成長してまいります。人は絶好調の時ばかりではない。絶不調のときには「どうせ私なんか…何をやってもダメ…」と思いこんでしまいます。そんなことは絶対にありません、しんどいときこそ自分を見失わず大切にしてほしいと思います。



高校日本拳法部員の皆さん

第2期(2013～2017)学園中長期計画推進中 “For the students”

現在、学園「経営理念とビジョン」のもと「第2期(2013～2017)学園中長期計画」を進めています。大学の教学組織拡充(言語聴覚学専攻開設(H27.4・認可申請中)、5学部6学科構想)、短期大学・幼稚園の50周年記念事業(短大新校舎建築、50周年記念式典・行事)、高校の改革(保育進学コース設置、新校舎建築構想)、学園内建物の耐震補強工事推進など、すべて“*For the students*”の視座から、一層の学園教育力向上に努めています。「玉手山学園に入学してよかった、卒業してよかった」と実感してもらうことが私たち教職員の願いであり最高の喜びです。これからも学園教職員は総力を結集させ、誠実に良質の教育活動に徹し続けてまいります。

学校法人玉手山学園 理事長・学園長 江端 源治

経営理念とビジョンは玉手山学園ホームページからご覧いただけます。
ぜひご確認ください。 <http://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/vision/index.html>

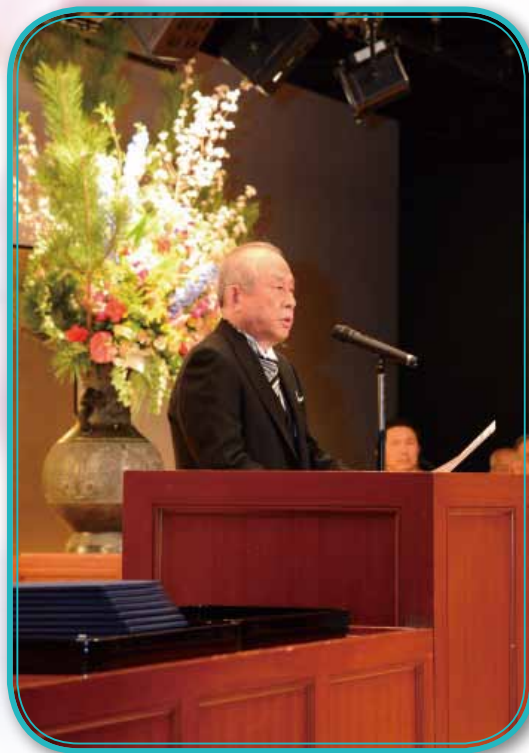


入学式・入園式

大学入学式

開催日：平成26年4月2日（水）
入学者数：599名（大学院・専攻科を含む）

当日は、本学正門横の桜も満開となり、この日を待っていたかのように新入生を迎えてくれました。入学宣誓式は、吹奏楽団と在学生のコーラスによる「恵みの美空」の演奏ではじまり、新入生代表による宣誓、八田武志学長から式辞、在学生代表による歓迎の言葉と進行しました。



短大入学式

開催日：平成26年4月1日（火）
入学者数：324名（専攻科を含む）

当日は、暖かい春の陽射を受け、多くの保護者の皆様、来賓の方々、在学生、教職員が出席する中とりおこなわれました。学長式辞では、祖父江鎮雄学長より、来年で50周年になる本学の歴史や建学の精神、教育理念について述べられました。



高校入学式

開催日：平成26年4月8日（火）

入学者数：341名

昨年度に引き続き、今年度も定員を大きく上回る新入生を迎えることができました。保護者の方も多数ご来校され、記念講堂はほぼ満席の状態で行いました。生徒総数は900名を超え、高等学校は今、活気に満ちております。本校のさらなる躍進にご期待ください。



幼稚園入園式

開催日：平成26年4月7日（月）

入園者数：97名

真新しい制服に身を包み、ちょっとごちない様子の新入園児の皆さん、ご入園、おめでとうございます。どの子もその小さな胸に、不安と期待がたくさん詰まっていたことでしょう。私たちは一人一人の思いをやさしく受けとめながら、園生活が、楽しく、安心して過ごせるよう、ずっと見守っていきたいと思います。



建学の精神 「感恩」

人はみな数々の恩恵を享受し 生かされている
この真理に目覚め 感動と感謝から発する豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い行動するとき われわれは社会に貢献できる
～「ありがとう」に出会い気づき 感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生み出されていく～

学園の使命

建学の精神「感恩」を体し 人の絆に目覚め 高い志をもち社会に貢献する
人を育成し 豊かな社会の構築に寄与する

経営方針

1. 学生 生徒 園児のもてる力をひきだし 次代を担う人を育成する
その教育実践により 学園教職員も豊かになる
2. 教育人としての自覚のもと 自己の能力および人格の向上に努め その
使命 責務を誠実に遂行し 人類の未来を拓く「知」の継承 伝達 創造 発展
に寄与する
3. 各校園は 伝統を重んじ 教育理念 目的のもと 具体的な教育目標
を掲げ 常に改革の意識をもって 創意工夫を重ね 総力を結集する
4. 継続 改革 発展を支える確かな組織力と健全な財政基盤の確立に努める

ビジョン

【玉手山学園がめざすもの】

1. 豊かな心 高い志の育成
～笑顔 あいさつ 優しさを大切にし
目を輝かせ夢を語り合う学園～
2. 学園教育力の向上
 - ・教育の質向上(学修成果・修学成就の向上)
 - ・組織拡充
 - ・4校園体制堅持(大学 短大 高校 幼稚園)
 - ・健全収支
3. 地域貢献 社会に必要とされ愛される学園
4. 教育環境(安心 快適 ECO)充実
5. 学園総合力の向上と学園ブランドの確立
 - ・各校園の相互協力(学園ファミリー意識)

「幼稚園との連携で取り組む食育活動」

大学 福祉栄養学科では、学園内附属幼稚園と連携し様々な食育活動を実施しています。平成23年度からは学生主体によるスイートポテト作りや野菜のゲーム等の食育を園児に実施しています。また、保護者を対象とした食育セミナーも平成25年度には5回を数え、日頃の食生活を振り返ることができる場であると好評を得ています。セミナーでは学生は食育リーダーとして会の運営や調理実習のサポート等を行っています。このような活動を通して、日頃の授業では経験できない多くの学びを得て成長しています。



短大 新入生オリエンテーション(賢島研修)

入学式の感動と緊張が冷めやらぬまま、4月4日(金)から三重県賢島の宝生苑で、恒例の学外オリエンテーションを実施しました。学生便覧を活用した学生生活の案内、履修指導、マナー指針の説明、学園歌指導等、各学科で創意工夫した取り組みが展開されるとともに、大広間での夕食会や若さが弾けた親睦会など、新鮮な思い出が新入生の胸に刻まれたようです。英虞湾に浮かぶ素敵な環境で、学びの抱負や夢を語り絆を結び合う時間は瞬く間に過ぎ、翌日には、和らいだ笑顔や仲間達と育んだ安堵感に包まれ、心地よい疲れを全身に感じながら河内国分駅に降り立ち、感激の一泊二日のキャリアアップ体験を終了しました。



高校 日本拳法部 全国大会出場!



3月29日(土) 30日(日)に第18回全国高等学校日本拳法選抜大会が行われました。昨年11月の大阪府秋季大会において、男子が初優勝(創部3年目での優勝は大会新記録)しての参戦でした。男子1回戦青翔(奈良)、2回戦阿蘇中央(熊本)に圧勝し、準決勝大阪(昨年度優勝校)に3勝1敗、決勝戦は、過去全国優勝12回を誇る東大阪大柏原に2勝3敗で、惜しくも準優勝となりました。女子も健闘し、第3位となりました。なお、男子中村寛(3年)、女子竹川真由(3年)が優秀選手賞を授与されました。個人競技では男子中村が第3位、宮本直弥(2年)が第5位、女子山原千歩(3年)が第5位入賞を果たしました。

大阪高校総体で25年度「女子総合優良校」に選出される

平成25年度大阪高等学校総合体育大会において本校の女子が第16位に入り優良校として表彰されました。

本校ではバドミントン部、日本拳法部、なぎなた部、卓球部がポイント実績を残し、その結果ベスト16入りことができました。表彰式は3月7日に上本町のホテルアウィーナで行われ、本校からは代表として立石弥穂さん(生徒会)、寺本奈未さん(日本拳法部)、肥後舞子さん(卓球部)の3名が出席し表彰状が授与されました。



「親子で遊ぼう!」人気殺到で嬉しい悲鳴!

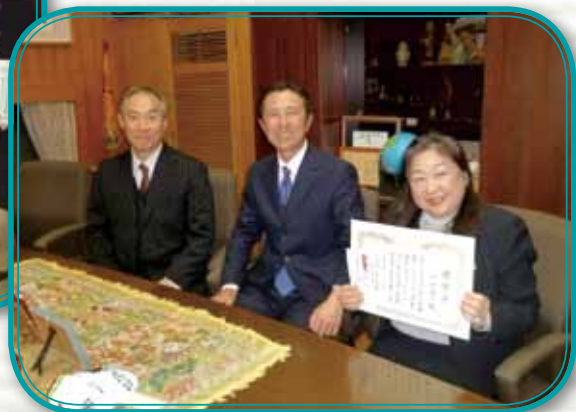


子育て支援を担いながら、親も子も楽しめるように、そしてすこやかな身体づくりのお手伝いにと「親子で遊ぼう!」を始めて、今年で8年目。今では地域でもしっかりと認識され、人気殺到です。月始めの朝は申し込みの電話に、嬉しい悲鳴を上げています。お子さまお母さまも、体をいっぱい使って遊び、心も体も十分に満足いただける一日となっています。



平成25年度 玉手山学園 永年勤続表彰式

平成25年度対象者の表彰式を平成26年1月9日に実施しました。対象者は勤続25年表彰が2名、勤続15年表彰が11名となりました。江端理源治事長はじめ関係所属長にもご臨席いただき、学園の長い歴史の中でのご功労を称え、学園より表彰状と一時金を贈呈しました。そして、各対象者からは楽しかった思い出やご苦労されたことなどお話しいただきました。今回表彰を受けられた方々におかれましては今後、更なるご活躍をお祈り申し上げます。



あべのハルカス前通路 デジタル広告を掲出

平成26年1月より、あべのハルカス前通路（近鉄大阪阿部野橋駅 西改札外コンコース）におきまして、本学のデジタル広告を掲出しています。デジタル広告は、時期によってコンテンツを変更できる特徴があり、また70インチサイズの画面で21面一斉に発信されますので、インパクトのある広告展開が期待できます。あべのハルカスのグランドオープンにより、これまで以上に賑わいをみせているこのエリアで、オープンキャンパス、体験入学、入試情報、イベント情報など、本学の魅力を一人でも多くの方に届けられるよう情報発信を行ってまいります。



先生をご紹介します

1. ご専門をお聞かせください。
2. ご専門に進まれるきっかけを教えてください。
3. 趣味はなんですか？
4. 今後の抱負をお聞かせください。



大学 臨床心理学科
相谷 登 学科長

1. 犯罪心理学と家族心理学です。研究分野が2つありますが、非行少年や犯罪者の家族関係を中心に研究をしていますので、私自身として違和感はありません。
2. 児童相談所で2年間、裁判所で16年間勤めていましたので、そこでの仕事内容から子育てに始まり非行少年や家族の抱える諸問題に興味関心を持つようになりました。
3. 多趣味です。鉄道模型や玩具収集などイン・ドアの分野と、野球にゴルフ、サイクリング、更には飛行機の操縦などアウト・ドアでの活動も大好きで、休みの日が待ち遠しい日々です。
4. 世の中の仕組みや社会に常に関心を持ち、また「生きていることが楽しい。」と思える人生を学生たちが送れるように、教育を通じて何らかの影響を与えたいと思っています。



短大 保育学科
仲宗根 稔 学科長

1. 専門分野は音楽（声楽）です。声質はテノール。歌唱分野はドイツ歌曲や日本歌曲、宗教音楽などを演奏しています。
2. 幼い時から歌が好きでした。8人兄弟の一番下だったので兄姉から唱歌を沢山教えてもらっていたこと、そして「音楽」の成績がいつも良かったからでしょうか。
3. 現在は走ることです。一時中断していたジョギングを2年前から再開しました。できれば近いうちにフルマラソンに挑戦したいと思っています。
4. やってみたいことは走ること、世界遺産を見る旅行、お気に入りの本の読み返しなど沢山ありますが、何よりも人に喜んでいただける歌を歌い続けたいです。

次回は、高校・幼稚園の先生を紹介します

職員をご紹介します

1. お仕事の内容をお聞かせください。
2. お仕事を始められたきっかけを教えてください。
3. 趣味はなんですか？
4. 今後の抱負をお聞かせください。



総合体育館 辻本 修次

1. 簡単に言えば、学園総合体育館（Do 夢）での諸業務です。格好つければ児童、生徒、学生、職員の皆さんが気持ちよく健康に関わることができるよう、お手伝いをすることです。
2. YMCAに38年間勤め、定年を迎えた時に旧友の森本校長から声をかけていただきました。「今までの君の経験を活かす仕事あるで…」渡りに船でした。愛に守られた「文武両道」は私のLogicでもあります。
3. 前職柄、Outdoor activityです。Marine sports Winter sports はたまた Camping など。ちなみに、孫が生まれるまでは、4WDをブイブイ乗り回していました。
4. «明日の健康は、今日作られる» Trainingは嘘を付きません。皆さんが健康になれるよう、お手伝いさせていただきます。若い人たちと関わることが至福の時。大切にします。